

2014年度 秋学期 「フィールド実習」プログラム一覧

2014年9月2日
文学学術院

プログラム名称

中国語による専門演習——中国で専門ゼミを実践する

指導教員 千野 拓政

受入機関

費用

上海大学中文系・文化研究系

約13万円(旅行代金の変動に伴い、変更があり得る)

実習場所

中国上海市上大路55号上海大学中文系

活動期間

2014年9月26日～2015年1月29日(準備ゼミ)(8日間/計12時間)

2015年3月3日～2015年3月11日(実習)(9日間/計37.5時間)

(受け入れ機関の都合で変更の可能性あり)(総計16日間/49.5時間)

プログラム内容

- ①4日間午前中2コマ、担当教員の立ち会いの下、上海大学の学生とともに上海大学の教授の講義を受ける。(講義内容は後日決定する。現代中国の文化・社会に関するテーマが中心となる)講義の最後に、午後の討論のための課題が与えられる。
- ②午後1コマ、課題に即して日中双方の学生が報告・討論する。
- ③討論終了後2コマ、毎日一つ課題を設け、入門班と合同して、学内外で調査活動をおこなう。(例えば、上海の物価調査、学生生活インタビュー、上海各市区[旧県城、旧租界、建国後の開発区、近年の開発区など]の特徴の観察など。上海大学の学生が付きそう。)最終日に報告会を行い、成果を中国語で報告する。
- ④自由行動日を設け、グループに分かれて市内にでかけ、観察・調査を行う。調査対象は各グループが自己申告する。(5コマ)
- ⑤魯迅記念館、魯迅故居などを訪れ、解説員の中国語による説明を聞く。
- ⑥専門演習班の学生(2年生が主体)は、入門班と合同で調査活動を行うことで、リーダーシップの養成を図る。

評価方法 : ①秋期に隔週開講する実習準備ゼミにおいて、リスニング、資料の解読、中国語による討論を課す。与えられた課題をすべて終了することが求められる。
②上海での実習に参加し、中国語による講義、課題の報告、中国の学生との討論、学内・市内の観察・調査活動を行う。(事前に、講義の資料などは読んでおくことが求められる。)

募集時期 : 9月17日～9月26日(秋期科目登録開始日から面接当日まで)

選考方法 : 文学学術院で2年間中国語を履修した程度の語学力を有すること。ならびに秋期に隔週開講する実習準備ゼミに参加し、中国語による授業、討論リスニング、プレゼンテーションなどの訓練を受けたうえで、実習に参加すること。
9月26日(金)4限に千野研究室で面接選考を行う。

備考 : 実習準備ゼミは秋期・隔週金曜4限に千野研究室で行う。
海外への学生引率助成を申請の予定(毎年申請している)

2014年度 秋学期 「フィールド実習」プログラム一覧

2014年9月2日
文学学術院

プログラム名称

中国語による入門演習——中国でコミュニケーションを実践する

指導教員 千野 拓政

受入機関

費用

上海大学中文系・文化研究系

約13万円(旅行代金の変動に伴い、変更があり得る)

実習場所

中国上海市上大路55号上海大学中文系・文化研究系

活動期間

2014年9月26日～2015年1月29日(準備ゼミ)(8日間/計12時間)
2015年3月3日～2015年3月11日(実習)(9日間/計37.5時間)
(受け入れ機関の都合で変更の可能性あり)(総計16日間/49.5時間)

プログラム内容

- ①4日間午前中2コマ、担当教員の立ち会いの下に、上海大学の学生とともに上海大学の教授の中国語による語学授業を受ける。
- ②午後1コマ、中国人学生を相手にプレゼンテーション、コミュニケーションを行う。
- ③授業終了後2コマ、毎日一つ課題を設け、専門班と合同して、学内外で調査活動をおこなう。(例えば、上海の物価調査、学生生活インタビュー、上海各市区[旧県城、旧租界、建国後の開発区、近年の開発区など]の特徴の観察など。上海大学の学生が付きそう。)最終日に報告会を行い、成果を中国語で報告する。
- ④自由行動日を設け、グループに分かれて市内にでかけ、観察・調査を行う。調査対象は各グループが自己申告する。(5コマ)
- ⑤魯迅記念館、魯迅故居などを訪れ、解説員の中国語による説明を聞く。
- ⑥初級演習班の学生(1年生が主体)は、専門班と合同で調査活動を行うことで、パートナーシップの養成を図る。

評価方法 : ①秋期隔週開講の実習準備ゼミにおいて、リスニング、資料の解読、中国語による授業の受講を課す。与えられた課題をすべて終了することが求められる。
②上海での実習に参加し、中国語による授業、中国の学生相手のコミュニケーション、学内・市内での観察・調査活動を行う。(事前に授業の教材などは予習しておくことが求められる。)

募集時期 : 9月17日～9月26日(秋期科目登録開始日から面接当日まで)

選考方法 : 文文学術院で1年間中国語を履修した程度の語学力を有すること。ならびに秋期に隔週開講する実習準備ゼミに参加し、中国語による授業、リスニング、プレゼンテーションなどの訓練を受けたうえで、実習に参加すること。
9月26日(金)4限に千野研究室で面接選考を行う。

備考 : 実習準備ゼミは秋期・隔週金曜4限に千野研究室で行う。
海外への学生引率助成を申請の予定(毎年申請している)

以上